

ここ最近思う事

日本包装管理士会
関東支部支部長 古平 篤

東京に住んでいると、いつも午後になると気になる事がある。そう東京のコロナ感染症の1日の感染者数である。今日は何人か、多いか、少ないかが気になる。私たちは、コロナウイルス感染症により、生活様式を変えなければならなくなっている。外出にはマスクが必要だし、そのマスクやトイレトペーパーが一時期、店頭から消えた。消毒用アルコールが品薄になり、飲料用の酒が消毒用アルコールとして使用された。また、大相撲、野球等のイベントも観客を入れないで開催され、祭りや花火大会等の行事が中止された。三密（密閉、密集、密接を避ける）、ソーシャルディスタンス、テレワーク、オンライン飲み会、給付金、コロナ世代、コロハラ、アベノマスクなど新しい言葉も生まれた。また、医療従事者には、感謝を申し上げたい。コロナウイルス感染症で日本、世界は変わったが、日本では包装にもいろいろと変化が起きている。

7月1日より、容器包装リサイクル法により、コンビニやスーパーマーケット等で使用しているレジ袋が有料になった。いままでは、コンビニで商品を買えば、無料のレジ袋が配布されたが、有料になり戸惑っている。商品を入れる袋を用意しなければならない。また、包装材料を使用した感染症対策の商品も各社で開発されている。コロナウイルスの飛散防止やソーシャルディスタンスを防ぐ目的で、段ボールや段ボールプラスチックを使用した仕切りパネルなどが、開発され既に商品化されている。また、政府は文具やおもちゃといったプラスチック製品を資源ごみとして分別回収するよう、市区町村に要請する方針を固めた。

新たな分別区分「プラスチック資源」を新設、洗剤ボトルや弁当容器などプラ製容器包装と一括回収する。海洋プラごみ問題などを背景に、排出抑制の動きが世界で広がる中、リサイクル拡大を目指す事になる。また、海洋ゴミの対策では、海水中でも分解する生分解性プラスチックが開発された。いろいろと動きがある中、関東支部では50周年記念行事に向けて動き始めている。関東支部では、2022年6月で50周年記念式典を開催する予定でプロジェクトを組んで推進している。記念講演のテーマとして、「SDGs」が候補となり、関東支部の理事で、勉強会を開催した。今後も勉強会を開催して、記念講演に備えたいと思う。また、2021年3月からはパーティ委員会を立ち上げる予定で進んでいる。その他、必要な委員会を立ち上げて検討して行く予定が進んでいる。コロナウイルス感染症で気持ちが減入っている方も多いが、新しい生活が始まっている。新型コロナウイルスと立ち向かい新しい生活を楽しもう。

《INDEX》

総会決議報告.....	2
新役員紹介.....	4
支部だより.....	5



PACKAGING INFORMATION
包装技術者の連携と協力をめざす

日本包装管理士会 会報
No.129

ipp
news

ipp news
2020年8月26日発行
編集人／道明 誠
発行／日本包装管理士会
東京都中央区築地4-1-1
TEL 03-3543-9250

第54回 日本包装管理士会 定時総会に関するご報告

2020/07/19 理事（事務局担当）井上伸也(5期)

6月24日(水)に開催を予定していた第54回日本包装管理士会定時総会は、新型コロナウイルス感染拡大防止対応の為、会員の皆様にお集まりいただき討議していただく方式を中止し、6月初旬に議案書をホームページに掲載するとともに、e-mailアドレスの登録をいただいている会員各位には、e-mailに議案書を添付して送信して内容の審議を行っていただき、別にお届けした議決権行使用のハガキを使用して、郵送による投票をお願いしました。

議決権行使のハガキは6月24日までに投票(投函)していただくをお願いし、6月29日(月)事務局到着分までを有効として集計させていただきました。定款の第17条に定足数「(1) 総会は、出席者数の合計が全会員数の1/5以上の出席で成立する。(2) 書面、または代理人による表決者は出席したものとみなす。」の記載があり、本総会は規定に則り成立しました。結果は右記の通りです。

無効票の1票は、会員外の方が投票(投函)されたハガキで他の会員が代理による表決したことではありませんでした。日本包装管理士会は個人登録会員による団体ですが、法人として会員になっていると勘違いされた方の投票であったので無効としました。

議決権行使ハガキが100%回収されなかったことは残念に思います。COVID-19の感染が急速に拡大する状況下で、集会方式に代わるITを利用した議案審議方式を受け入れていただいた会員各位には大変感謝いたします。議案についてのご説明や意見交換が充分であったか不安が残りましたが、今後の在り方として第一歩を踏み出せたと感じる定時総会でした。

4月27日に発令された国の緊急事態宣言は5月25日に解除されましたが、COVID-19が完全に終息したわけ

はありません。感染予防を図りながら、適切に活動を進めるとともにIPPのニューノーマル(新常態)を模索したいと思います。会員の皆様にはご理解とご協力をいただけることをお願いいたします。

【回収された議決権行使ハガキの詳細内容】

1. 投票数：310票 投票率=49.2%
2. 有効票：309票 有効票の内訳は
①~③の通りです。
- ①議決権行使票：196票
(全て議案に賛成：196票 反対：0票)
- 1号議案
2019年度事業活動報告及び収支決算報告
⇒ 承認されました。
- 2号議案
2019年度監査報告
⇒ 承認されました。
- 3号議案
2020年度事業活動計画(案)及び収支予算(案)
⇒ 承認されました。
- 4号議案
2020・2021年度役員
⇒ 承認されました。
- ②委任票 : 109票
(委任票は賛成票として集計されます)
- ③棄権票 : 4票
3. 無効票： 1票 会員外の方が投票されました。

2019年度／2020年度 関西支部 総会

2020年6月16日 於：大阪市立総合生涯学習センター（大阪駅前第2ビル5F）



関西支部 定時総会



桃川支部長

下茂副支部長

第48回 関東支部 定時総会に関するご報告

22020/07/24 井上伸也(5期)

6月24日(水)に本部と同日開催を予定していた関東支部第48回定時総会は、COVID-19感染防止を考慮して、集会を取り止め議案書をホームページに掲載するとともに、e-mailに議案書を添付して会員宛に送信し、議決権行使のハガキによる投票をお願いしました。

議決権行使のハガキは6月29日(月)事務局到着分までを有効として集計させていただきました。回収された議決権行使ハガキの結果(詳細な内容)は右記の通りです。

議決権行使ハガキが100%回収されなかったことは残念に思いますが、COVID-19の感染が拡大する状況下で、議案審議に新方式を受け入れていただいた会員各位には大変感謝いたしております。今後の在り方(ニューノーマル)として第一歩を踏み出せたと感じる定時総会でした。

【回収された議決権行使ハガキの詳細内容】

1. 投票数：119票 投票率=44.9%
2. 有効票：118票 有効票の内訳は
①~③の通りです。
 - ①議決権行使票：74票
(全て議案に賛成：74票 反対：0票)
 - ②委任票 : 41票
(委任票は賛成票として集計されます)
 - ③棄権票 : 3票
3. 無効票： 1票 会員外の方が投票されました。

第51回 中部支部 定期総会(開催中止)

2020年度の「第51回中部支部定期総会」は、新型コロナウイルス感染拡大の情勢から事態収束の見通しが不透明な状況であったため、会員各位の健康や安全面などを第一に考えた結果、大変遺憾ながら開催を中止させていただきました。

中部支部運営委員会において事前に審議・承認をいただいた「第51回中部支部定期総会議案書」を中部支部会員各位に郵送し、「審議内容同意書」を返送いただく形での手続きを以て総会での審議に代えさせていただき、多数の同意をもって各議案が承認されました。

第43回 西日本支部 定時総会

第43回日本包装管理士会西日本支部定時総会は、新型コロナウイルス感染症対策のため、書面での開催としました。2019年度事業報告・決算報告ならびに2020年度事業計画・予算案を審議しました。

役員は、以下の通り、選任されました。

- ・支 部 長：藤生 廣来
- ・副支部長：上橋 健一
- ・副支部長：森永 浩史
- ・事務局長：八田 彰
- ・理 事：中村 格勇
- ・理 事：末松 洋亮

JPI様との協力関係のもと、充実した事業企画を目指していきます。

今年度の事業企画は以下の通り計画しておりますが、新型コロナの収束が見通せない中、知恵を絞って事業運営をまいります。

- ・講演会：1~2回(予定)
- ・見学会：1~2社(予定)
- ・研究会：2回(予定)

新運営委員紹介（関西支部）

関西支部 細田基則（13期）

総会にて新任の運営委員3名が承認されました。現在の男性運営委員とは違い、はるかに若い女性委員、宇野委員、長崎委員、羽馬委員の誕生です。支部活動方針の一つである「運営委員会の活性化」の一環であります。お三方に抱負を語って頂きましたので紹介します。

☆株式会社ザクティの宇野智恵子（37期）と申します。

弊社は相手方ブランドによるデジタルカメラ及びデジタルデバイスの開発・製造・販売を行っており、私の担当業務としては、これら製品の包装設計を20年以上行っています。これまで包装管理士会の会員として関西支部の活動に参加させて頂いて来ましたが、昨年度後半より関西支部の運営委員として支部の活動を行っています。運営委員としては最近の会員減少傾向に対し、少しでも管理士会の会員が増えるよう魅力的なセミナーやイベントを開催し、参加頂くことにより包装に関する有益な情報などを持ち帰って頂くことでの管理士会会員のメリットを感じて頂き、またネットワーク作りを活発に行い、会員増につながるよう、関西支部を盛り上げたいと考えています。



☆株式会社昭和丸筒の長崎美智子と申します。46期です。

弊社「昭和丸筒」は繊維やフィルムを巻き取る芯、コーキング剤の容器、お菓子の容器など円筒のパッケージを作り続けて、あと3年で100周年を迎える老舗企業です。

私は関西支部の中では最年少の運営委員ですので、諸先輩方にアドバイスをいただきながらも、これまでやってこられた事に囚われない、若々しいアイデアやイベントを企画したいと考えています。

最年少の加入で「平均年齢を下げられるか！と思いきや、私もそこまで若くなく、大幅に下げることができませんでした…若手の参加者が来てくれるようなセミナーやイベントを考え、瞬間平均年齢を下げることに注力します！

<ご謙遜の挨拶でした！

お若いのに（筆者）>

☆羽馬友子（51期包装管理士34期包装専士）です。

私は、W会を通して、関西の包装管理士会のミニセミナーを拝聴したり、見学会に参加する機会を得ることが出来ました。とかく視野が狭くなりがちな自身の知識や経験を、より大きな視野で見ることが出来るようになり、それがきっかけとなって、包装管理士講座を受講することになりました。

包装管理士講座では、より見分を広め、また久々に試験勉強を共にする“同期”という仲間を得ることが出来ました。そのご縁は、現在でも繋がっております。更に、管理士会にて講師をさせて頂くという、個人的に代えがたい経験と機会を得ることも出来ました。

次の私のささやかな希望は、運営委員の役割を通して、貴重な知識と経験を与えて頂いた諸先輩、及び同輩・後輩の方々、そして包装業界に何かしらのご恩返しをすることです。本当に微力な私に、何が出来るかは未知数ではございますが、頑張っ

新任役員紹介（関東支部）

就任のご挨拶

関東支部理事 野崎浩子（38期）

この度、関東支部の理事に就任することになりました38期の野崎と申します。

ここ2～3年は包装管理士会関東支部の女性コミュニティ“Wippl”の活動に関わらせて頂きました。今後も、包装管理士会及び関東支部、“Wippl”の発展に少しでもお役に立てるよう頑張っ

てまいりますので、よろしくお願い致します。

コロナ禍が収束しない中、生活スタイルや働き方など変化の大きな日々が続きますが、皆様お体に気をつけてお過ごしください。



h2>西日本支部だより

h3>◆企業博物館での包装展

西日本支部 副支部長 上橋健一(29期)

TOTOミュージアム（福岡県北九州市）において「企画展示「製品にも人にも地球にもやさしいTOTOの包装技術展」が開催しています。同社の包装の歴史、環境対応や製品や包装を扱う人への配慮を実物やパネルで紹介しています。展示の様子を3点、ご紹介させていただきます。



昭和20年代、衛生陶器は木箱包装、わら巻き包装でした。近傍のパネルには、昭和29年の社内報に「包装の必須条件」として、

1. 内容商品が十分に保護されなければならない。
2. 輸送経費が安く済むように重量、容積はできる限り軽少にしなければならない。
3. 包装労力、荷役取扱労力を軽減するようにしなければならない。
4. 出来上がった荷姿は美しくなければならない。
5. しかも、商品コストと睨み合わせて、経済的でないといけない。

が記載されていました。今も昔も包装が求められる条件は変わりません。「荷姿が美しく」は今様に言えば、「環境配慮」に読み替えることができると思います。



温水洗浄便座（ウォシュレット）の包装です。

かつて（右側）は緩衝材

に発泡スチロールを使用していましたが、現在（左側）は段ボールに置き換わっています。商品自体も貯湯式から瞬間式になってコンパクトになり、更なるエコ包装に寄与しています。

商品の形状にとらわれない緩衝機能付きのフレキシブルな包装箱です。アフターパーツ向けの包装点数の削減につながっています。



※コロナ禍により、この記事は展示会に誘引するものではありません。

h3>■包装事情について

西日本支部理事 中村格勇(26期)

7月1日より「レジ袋の有料化」が始まりました。福岡県朝倉市の指定ゴミ袋に生ごみ以外を保管して回収指定日に運びます。従来は「スーパーのレジ袋に入れて指定のゴミ袋に入れます」まとめて入れやすかったが若干不便です。生ごみは家庭の決めたポリバケツに入れて畑の肥料にします。

（畑のない所は散らばりそうです）

以前から有料化のお店はマイバックを活用します。何回も使用する為、衛生的に注意する必要があります。「コロナ対策で個別の商品も消毒して冷蔵庫に保管します。」

個包装について

- ① 医薬品
 - ② レトルト食品
 - ③ 生産地から消費までの長い商品
 - ④ 酸化・乾燥・パッケージ
 - ⑤ 個包装の必要な商品等（経済のシステム上）
- については機能性プラスチックが必要な現状です。環境対策のレジ袋に追加されるプラゴミは包装業界の宿命であり課題です。

人類は増加します。生きるために必要不可欠のプラスチック製品の包装は何でしょうか？

■不燃物の回収について

西日本支部理事 中村格勇(26期)

私の町も決められた曜日の17:30から18:30迄分別回収します。瓶(透明・茶・その他)、缶(アルミ・スチール)、PETボトル、プラスチック、乾電池類、蛍光灯、雑物、ミルク紙器等に分類し回収します。たくさんの住民が集まります。この場の活用を考えましょう。結構意識は高いです。町の三役の立ち合い分別指導、各組の当番組長が手伝います。このシステムを見直しましょう。

北海道支部だより

北海道支部長 酒井幸彦(36期)

コロナ禍の中で非常に厳しい状況が続いておりますが、皆様はいかがお過ごしでしょうか？

北海道は2月から始まり、3月には北海道独自の非常事態宣言が発せられ会社も時差出勤となり、ユーザーへの訪問はままならない状況が続きました。その後全国的にも非常事態となり、ようやく自粛解除にはなりましたが油断の出来ない状況です。

その様な状況下では委員会も開けず、又会員の皆が楽しみにしており恒例の【夏のビールパーティ】も中止と致しました。このような状況がいつまで続くのか、はやく元の状態に戻って笑顔で美味しいビールを飲みたいものです。

北海道はインバウンド頼みの産業が結構あり、閑散とした空港は土産店も閉まっており、北海道経済は大きな打撃を蒙っており非常に厳しいです。又1次産業の農業は6月の低温が響いており、若干生育遅れが目立ち、水産関係も水温上昇により本来獲れる魚種に変化があり加工業者が戸惑っておる状況です。いずれにしてもワクチンが出来るのを待つばかりです。

一応北海道の状況です。全国的に拡大傾向になっていきますので会員皆様のご健勝を祈念致します。

東北支部だより

東北支部支部長 鈴木 雅彦(23期)

早いもので2020年も折り返しを過ぎ、夏休みの時期を迎えようとしています。1月16日にJPI東北支部新年名刺交換会にIPP東北支部として共催参加し、JPI会員とともに新年を祝いました。しかしすぐにコロナウイルス問題が発生、各社の活動が制限されるようになりました。市内では学校の卒業式なども自粛になり、緊張が高まりました。3月に予定していたJPI東北支部との打ち合わせもできなくなり、次年度計画の立案や支部総会についても結果的には開催する事出来ずに、書面による総会開催となりました。

東北地方は幸いにもコロナウイルス感染者は少ないのですが、各企業では訪問者の規制が強化され、また部品等の入手困難から生産ラインが減少と経済活動も大きくブレーキが働いています。このような状況の中こそ、IPP会員へ有益な情報発信活動を行う事が、支部の役割と思っております。

東北支部は非常に広域な範囲に会員がおられどうしても集まるには、仙台となってしまいます。そのために運営についてはJPI東北支部と共同で行う事を基本とし、教育・研修・交流事業を行っています。これは費用・参加者確保等の意味からも効果がありました。しかしなかなか支部会員の皆様とともに集う時間が作れていないことを、反省しております。

そこで今回の支部だよりの書面を使わせて頂き、是非若い会員方に支部の理事となって頂き、お力添えを頂きたいとお願いしたいと思います。IPPの活動を通して是非ネットワークを広めて頂き、自己研鑽に役立てて頂きたいと思っています。

最後に言い訳に成ってしまいますが、この状況下全く活動できていない事を再度お詫びします。



COVID-19と戦う、我々が今できる事

株式会社東北ウエノ 鈴木 雅彦

今年我々が初めて出会ったウイルスCOVID-19。はじめは海外の話の様に感じていたがあっという間に日本へ、わが社でも感染対策として受付に飛沫感染防止パネル、食堂にも飛沫感染防止パネルを作成し社内で使い始めました。3月にはお客様から、自社の食堂で使うパネルの問い合わせが入り始め対応。弊社HPにも掲載し告知開始。弊社の業務は包装設計、包装改善等の提案活動がメインで、顧客ニーズをくみ取り適正素材で提案するのが活動方針です。今回のような商品開発は得意でした。これらの活動は社員たちからの自発的な活動で、行動制限のある中で、自分たちが今できる事を積極的に進めた結果でした。

するとわが社の活動を見ていた企業より、医療用の開発依頼が舞い込みました。「医療従事者が大変な事に成っている。身の危険をかえりみないで仕事をしている。現場を助けて欲しい」でした。少しでも作業が軽減できるように、使い捨ての飛沫感染パネルを作って欲しいという事でした。これは台湾の医師が公開した「エアロゾル・ボックス」設計図がもととなっています。しかしアクリルで作成された製品は重たく、さらに価格も高価なため、洗浄して使いまわさなければならぬという事でした。通箱などの設計で畳める仕切りなどは、事例も多く既存の考え方と材料選択で、以外と開発には時間かけずに1号試作を病院に届けました。現場からは高評価を頂き、さらに使い捨てにしたいのでこのごみ箱にサイズに入るように、廃棄時は小さくしたいとか要望が返ってきました。早速再設計、再試作5月の連休前にドタバタ、そして仕様がほぼ決まります。幸いにも緊急事態宣言が終わると、いったん拡大は落ち着きました、重症患者の数字が下がり開発ペースも少しゆっくりとなりました。

そんな時、NHKから取材の申し入れがありました。初めて朝の情報番組に取り上げられ、東北地方に放送が流れました。そして反響があったとの事で、全国ネットで朝早い時間帯でしたが2回も流れました。我々はお客様のニーズをくみ取って最適な包装仕様を提供する事が仕事でした。今回もその手順に違いはありませんでした。使い捨て商品も使う環境においてはその必要性もある事を知りました。包装設計で商品を包む事を仕事にしましたが、このような人を守るための商品も、包装設計である事を確信しました。そして我々の知識が活躍する事が医療従事者を守る商品を開発できた事に喜びを感じました。もちろんこの商品が使われる事のない事を願って、今回の開発の報告とさせていただきます。



関西支部だより

関西支部 細田基則（13期）

今年度は大変な年で始まりました。武漢ウイルスの感染拡大で自粛要請や新しい生活様式の推奨等、支部活動にも影響が出ていますが、他の支部の皆様も同様と思います。

2月の第43回ミニセミナーまでは開催することが出来ましたが、3月予定の第44回ミニセミナーは中止し、5月予定の支部総会は規模を縮小して（会則の1/5以上の出席と委任状があり成立しています）6/16に開催しました。新型コロナウイルスの感染拡大防止のための様々な施策を遵守しつつ、支部会員の満足度UP（会費に見合った情報提供）を主方針として活動を進めて参ります。また、運営委員会の活性化を目指し、女性3名の新任運営委員を含めて9名で支部活動を進めて行きます。以下2019年度後半から直近までの活動内容を紹介します。

◆ミニセミナーの開催

◇第43回 2月18日

（3月予定の第44回は中止となりました）

「環境に優しいプラスチック材料」

講師：東洋紡(株)パッケージング開発部

マネージャー工学博士 清水敏之氏

「合成紙“ユポ”及びパッケージ分野における採用事例ご紹介」

講師：(株)ユポ・コーポレーション営業本部

西日本支社課長 樋口智之氏

2019年度の活動計画は、これで終了となりました。



清水講師



樋口講師



交流会

コロナの前は楽しかったなあ！

2020年度は6月に延期となった支部総会から始まりましたが、新型コロナウイルスの感染防止策としてガイドラインに沿って以下のような対策を実施して、6月16日の関西支部総会と7月17日の第11回W会との合同研究会を開催しました。

(催し物の開催に当たって)

- ・案内・・ ソーシャルディスタンスを確保するため、使用会場は例年より間隔を広げた座を配置し、会場収容人数も半数以下で募集。また、発熱や体調不良の方には入室を控えていただく旨を要請、参加者には全員マスク着用の協力を依頼。
- ・当日・・ 会場通路にアルコール消毒液設置、会場内使用テーブルはアルコール消毒を行い、会場入口を開放して実施。
- ・その他・・ 支部恒例のセミナー後の交流会は中止。

◆第11回W会との合同研究会 7月17日
〔W会：女性だけの包装研究会〕

「パッケージ設計とパレット積載計算の効率化」

講師：エスコグラフィック(株)

マーケティング部マネージャー

斎藤陽一氏

&大山部長

ーオンラインセミナー実施ー

※はじめての試みでした。

「もうそこまで来ている、環境に配慮した選択肢
～水性フレキソ～」

講師：相互製版(株)品質管理部課長

北川朋典氏



斎藤講師&大山部長



北川講師



会場風景

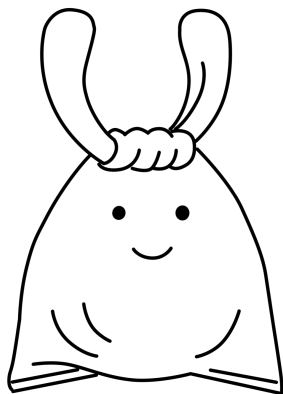
中部支部だより

2020年度輸送包装研究例会

7月29日（水）、JPI中部支部との共催で「輸送包装研究例会」を“Zoomウェビナー”を利用して開催いたしました。

1件目の講演では、ロジクエスト(株)の清水一成様から、物流現場の梱包・包装改善に関する様々な企業の取り組みを具体的な改善事例とともに紹介いただき、意識改革の必要性をご説明いただきました。続く後半には、京セラコミュニケーションシステム(株)の松木憲一様・川合直樹様から、同社が国内で展開するIoTネットワーク“S i g f o x”の特徴や運用イメージについて、先行事例とともにご紹介いただきました。いずれの講演も、包装・物流の現場における最新の事例や状況をもとに、これからの現場の在り方や改革の方向性を考える大変良い機会となったのではないかと思います。

今回の研究例会は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、初めてのオンライン形式での開催となりましたが、70名を超える多くの参加者を集めることができました。後期の事業についても、新型コロナウイルスの感染拡大状況を見ながら、会員各位の健康や安全の確保を第一に、可能な限り会員の皆様へのサービス提供が行えるよう、支部長をはじめとする運営委員一同・事務局が一丸となって取り組んでまいりますので、今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。



つつむ君

関東支部だより

「関東支部50周年に向けた活動情報」

関東支部支部長 古平 篤 (25期)

関東支部では、2022年6月で50周年記念式典を開催する予定でプロジェクトを組んで推進しております。記念講演のテーマとして、「SDGs」が候補となり、関東支部での勉強会を2019年11月4日（月・祝日）に開催しましたが、その後新型コロナウイルス感染症の為、中断しております。今後も勉強会を開催して、記念講演に備えたいと思います。また、2021年3月からはパーティ委員会を立ち上げる予定で進んでおります。その他、必要な委員会を立ち上げて検討して行く予定であります。詳細が決まりましたら、また皆様にご連絡を致しますので宜しくお願い致します。

ツイッター

日本包装管理士会

検索



関東支部では、ツイッターで情報発信しています。

IPPコミュニ亭について

関東支部支部長 古平 篤 (25期)

人と人をつなげる異業種交流企画「IPPコミュニ亭」ですが、新型コロナウイルス感染症のこともあり、令和元年11月2日（土）に行われてから、その後開催されておられません。現在、LINE、ZOOM、Googleハングアウト、Skype等のシステムを使用すれば会議をする事は可能ですが、初対面の方が名刺交換を行い、新たな人脈づくりを行うとなると、このシステムではなかなか難しいと思います。今後も必要な行事でありますので、新型コロナウイルス感染症が収まって来ましたら感染症対策を行い、

「第4回 IPPコミュニ亭」を開催する予定です。時期としましては、今年（2020年）の秋位を考えておりますので、その時には皆さんにお声を掛けますので、宜しくお願い致します。なお、この会は包装管理士だけではなく、いろいろな会の方、ご家族の方が集まり、BBQを行い、新たな人脈づくりや包装業界だけではない交流「遠くの知」を知る有益な機会です。

“Wippl” 活動報告

関東支部理事 大枝麻由 (51期)

皆様、新型コロナウイルスの影響が続いておりますがいかがお過ごしでしょうか？ “Wippl”では今年2月に大森機械工業株式会社様への工場見学会・交流会を企画しておりましたが、残念ながら新型コロナウイルスの影響により延期（日時未定）となってしまいました。工場見学会では『最近の包装トレンドとそれに対するOMORIとしての取り組み』、交流会では丸美屋食品工業株式会社様、大日本印刷株式会社様より『女性の働き方と環境整備（在宅勤務等）の事例紹介』をお伺いした後、意見交換会を実施する予定でございました。本件につきましては状況が落ち着き次第開催予定ですので、是非ご参加ください。

また昨年12月には忘年会を開催し、6名の方にご参加いただきました。新加盟のメンバーも交え、和気あいあいとした楽しい時間を過ごす事ができました。

現在は今後に向けた新企画を検討中で、具体的には秋頃にオンライン会議システムを活用して交流会を実施したいと考えております。内容は、今回の新型コロナウイルスで在宅勤務を経験された方もいらっしゃるかと思います、実際に在宅勤務をしてみて困った事や、会社への要望、今後どういった働き方を希望するか・・・などの意見を出し合っ、今後の働き方を考えるきっかけとしたいと考えております。また詳細が決まり次第、ご案内させていただきます。

現在、“Wippl”には21名の方が加盟されております。随時メンバーを募集しておりますので、活動にご興味のある方は事務局までご連絡いただければ幸いです。

連絡先：

大枝：oeda@kanaha.co.jp

椎橋：shiihashi464955@oji-gr.com

野崎：Nozaki-H2@mail.dnp.co.jp

皆様に再びお会いできる日を、事務局一同楽しみにしております。

IPP写真研究会 活動報告

関東支部監事 荒牧 哲(23期)

当研究会は写真を通じて楽しさを共有する親睦の集まりです。関東支部からの活動支援金と年会費で運営しています。2020年前半は次の行事を開催したのち、新型コロナ流行のため、活動を停止しています。2020年1月29日までJPIロビーに会員の年間傑作各自1点を展示。2月01日(土)、アサヒビール23階のゲストルームで総会、小写真展兼新年会を14名の参加を得て開催。年間行事と予算、全員の役割分担を検討。おいしいビールと共に、別室に並べた各自の3作品への講師による講評を受ける。

今後の計画として、10月24日(土)に昭和記念公園での撮影会を予定しています。

屋外で十分な社会的距離を取っての写真撮影と懇親会を予定していますが、外出自粛等の呼びかけ等によっては、延期あるいは中止となります。

恒例の横浜山手234番館での写真展は、新型コロナの状況を見ながら開催時期を決めていきます。



会員の皆様、このコロナ禍で、大変な日々をお過ごしのことと存じます。もしも感染された方は1日も早くご回復されることをお祈りしています。また知人や友人の方で不幸にして亡くなられた方々に対しまして心よりご冥福をお祈りしたいと存じます。会員の皆様におかれましては、くれぐれも健康を第一に考え日々の生活を送っていただければと思います。

さて日本包装管理士会もCOVID-19感染対策のため、予定していた活動の多くが中止や延期となりました。本ippニュース企画段階では、記事が集まるかどうか大変心配しておりましたが杞憂に終わりました。このような禍中におきましても、全国の皆様方はIT技術を駆使し、また感染予防対策をしっかりと実施し力強く活動されている、または近く計画されている姿を拝見することができ心強く感じた次第です。

また、日本包装管理士会も少しずつですが女性役員が増えつつあります。昨年には女性活躍推進法が改正され、特例認定制度（プラチナえるぼし）が創設され令和2年6月1日に認定申請が始まりました。会員様が所属している会社でも認定企業がたくさん増えることを願いつつ、日本包装管理士会もその一助になれば大変好ましいことと思います。女性新役員の皆様にはぜひとも日本包装管理士会の活動を盛り上げていただきたいと思います。また本会の目的の一つである“親睦”を図り、多くの人との情報交換によって「遠くの知」を集め、イノベーションに繋げていければ全てが幸せにつながると信じております。最後までお読みくださり誠にありがとうございました。

道明 誠（23期）

日本包装管理士会 / Institute of Packaging Professionals, Japan

e-mail: ipp@pk9.so-net.ne.jp
http://www.ippj.net /

■本部	〒 104-0045	東京都中央区築地4-1-1 東劇ビル10F 日本包装技術協会内	TEL : 03-3543-9250 FAX : 03-3543-8970
■北海道支部	〒 060-0001	札幌市中央区北一条西2丁目 北海道経済センタービル 北海道生産性本部内	TEL : 011-241-8591 FAX : 011-241-3898
■東北支部	〒 021-0893	岩手県一関市地主町 3-35 株式会社東北ウエノ内	TEL : 0191-21-4531 FAX : 0191-21-5381
■関東支部	〒 104-0045	東京都中央区築地4-1-1 東劇ビル10F 日本包装技術協会内	TEL : 03-3543-9250 FAX : 03-3543-8970
■中部支部	〒 450-0003	名古屋市中村区名駅南4-12-17 日通ビル2F 日本包装技術協会内	TEL : 052-563-7110 FAX : 052-563-7123
■関西支部	〒 550-0014	大阪市西区北堀江1-1-27 イマイビル4階	携帯 : 090-4305-3906 (桃川) FAX : 06-6606-8768
■西日本支部	〒 849-0921	佐賀県佐賀市高木瀬西6-3-2 株式会社サガシキ内	携帯 : 090-9876-7832

..... Copy & FAX 用切取線

日本包装管理士会会員登録データ変更届

■宛先 日本包装管理士会事務局 Fax:03-3543-8970 ☎:03-3543-9250

フリガナ	会員番号	番
氏名	届出日	令和 年 月 日
会社	社名 所属 住所 〒 TEL E-mail	FAX
自宅	住所 〒 TEL E-mail	FAX